

台湾バイテク 企業の挑戦

(5)

楓荷生物科技股份有限公司

楓荷生物科技股份有限公司(王慧珍総経理)は、台湾南部でイタリアンレストランなどの外食事業を手広く展開する企業グループの1社で、エステ部門とともに食品・化粧品事業部門を担っている。主力商品は台湾で

「玉蘭花」と呼ばれる花を使ったシリーズ。今年は、国際発明展で金牌(金賞)獲得という栄誉にも浴した。台湾の都市部を訪れると、交差点で信号待ちしている車を相手に女性が小さな白い花束を売り歩く姿をよく見かける。その花が白木蓮の一種・玉蘭花。香りの良さが最大の特徴で、車のバックミラーに引っかけておけば、さわやかな天然の芳香剤になる。

台湾政府が建設した農林水産業のバイテク特区・屏東農業生物技術園区(PABP)とともに



王慧珍総経理(中央)とスタッフ

に同社が本社を構える屏東

県は、玉蘭花の主産地でもある。同社は契約栽培で手摘みされた花を早朝から集荷し、高度な技術を駆使してエキスを抽出。70ccの花からわずか5ccしか取り出せないという貴重なエキスは、保湿効果

も高い香りの豊かなエッセンシャルオイル、化粧品クリーム、ハーブティーなどに商品化している。

同社は今年、東南アジアを中心に欧州も含む14カ国が参加してマレーシアで開催された国際発明展に、玉蘭花のエッセンシャルオイル

高い抽出技術で商品開発

国際発明展金賞獲得

ルを出品。バイテク部門で見事、金牌(金賞)に輝き、その高い技術力・商品開発力が国際的にも認められた。

また同社は、「柚子」と呼ばれる文旦の皮から抽出したエッセンシャルオイル、普通の水

に数滴たらすだけで清涼飲料水になる飲料用商品、桑の葉から精製したGABA豊富なティーバッグなどを多彩に商品化。有機専門店や高級百貨店・スーパーで販売し、好評を得ている。さらに新商品として梅加工食品6種

か、屏東市や高雄市でチェーン展開しているエステサロンで独自商品として使用する点が同社の強み。評価が口コミで広がり、リピート



玉蘭花商品が金賞に

ターの獲得につながっている。

を開発。料理に応じて加工した梅と漢方薬成分を配合した商品に仕立て、レシピ付き食材として提案している。各商品は市販するほか、屏東市や

高い抽出技術を持つ同社はまた、漢方薬診療所の処方箋に合わせ、抽出・調剤する業務も行うほか、OEM生産にも取り組み、海外輸出の実績もある。PABPへの入居が決まり、来年初めには研究室・製造工場の建設が始まる。10月5〜7日に東京・有明で開催される食品開発展にも参加し、独自性豊かな商品を広く紹介する。



梅加工食品も新開発